CF-82J5XEXS

補足説明　- 最初にお読みください -

**このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
以下に、『取扱説明書』および『操作マニュアル』の記載と一部異なる個所について説明します。
ご使用になる前に必ずお読みください。**

お知らせ

- 本機の操作方法等はCF-82J5AXSと同等です。
- CDドライブをご使用の前に、『操作マニュアル』の「CDドライブ」をお読みください。

●付属品

電源コード	1本
マウス	1個
キーボード	1個
プロダクトリカバリーCD-ROM	3枚
DVD Drive Utility Disc[*1]	1枚

印刷物	取扱説明書
	保証書（梱包箱に貼り付けられています。）
	保証期間延長依頼書
	Windows マニュアル
	補足説明（本書）

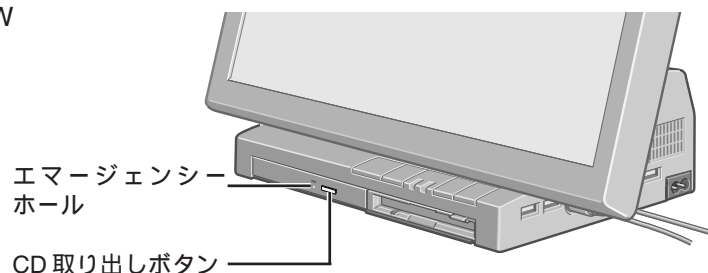
*1 WinDVD、B's Recorder / B's CLiP インストール用CD-ROM

CD ドライブ

『操作マニュアル』「CD ドライブ」

本機には、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブが内蔵されています。

●説明中の「CDドライブ」は、「DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ」と読み替えてください。

●CDドライブのCD取り出しボタンとエマージェンシーホールは右図の位置です。

お知らせ

- ディスクから動画を再生したときに、なめらかに再生できないことがあります。あらかじめご了承ください。

<CD-R、CD-RWディスクに書き込みや書き換えを行う場合>

- 書き込みや書き換え速度に応じたディスクをご使用ください。
- CD-RディスクやCD-RWディスクは、包装に記載されている内容をよく読んでお使いください。
- 推奨ディスクをお使いください。
  ＜推奨ディスク＞　CD-R：太陽誘電㈱製、三菱化学メディア㈱製、㈱リコー製、日立マクセル㈱製
  CD-RW / High-Speed CD-RW：三菱化学メディア㈱製、㈱リコー製
  Ultra-Speed CD-RW：三菱化学メディア㈱製

WinDVD™

「WinDVD™」（以降「WinDVD」と記載）は、DVD ビデオ再生用のソフトウェアです。
ここでは、「WinDVD」の概要、インストールのしかた、オンラインヘルプの見かたなどについて説明しています。
使いかたについて詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。(☞ 6ページ)
・WinDVD は、InterVideo, Incorporated の商標です。

インストールのしかた

お願い

- 「WinDVD」のセットアッププログラムを起動する前に、他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしてください。

① **DVD Drive Utility Disc を CD ドライブにセットする。**
[ユーティリティセットアップツール]画面が表示されます。
(ディスクを認識するまでに少し時間がかかります。)
自動的に[ユーティリティセットアップツール]の画面が表示されなかった場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、[d:￥Setuputil.exe]*1と入力して[OK]を選んでください。

② **[WinDVD のインストール]を選ぶ。**

③ **「WinDVD」のセットアップ画面で[次へ]を選ぶ。**

④ **使用許諾契約 *2が表示されたら内容をよく読んで、同意する場合は[はい]を選ぶ。**

⑤ **画面の指示に従って、「WinDVD」をインストールする。**

*1「d」はドライブ文字です。コンピューターの使用状況にあわせて変更してください。
*2『取扱説明書』の「ソフトウェア使用許諾書」もご覧ください。

起動のしかた

以下のどちらかの方法で起動することができます。

● デスクトップの InterVideo WinDVD をダブルクリックする。

● [スタート]-[すべてのプログラム]-[InterVideo WinDVD]-[InterVideo WinDVD]を選ぶ。

使用上のお願い

● WinDVDが起動しているときは、スタンバイ・休止状態に入らないでください。
● コンピューターの起動直後、ハードディスク状態表示ランプが点滅している間は、WinDVDを起動しないでください。
● ビデオの再生中は、以下のことをしないでください。
  ・ディスクを取り出す
  ・他のアプリケーションソフトやコマンドプロンプトを使う
  ・画面のプロパティを変更する
● WinDVDと、他の再生ソフトを共存させないでください。
  WinDVD以外の再生ソフトをインストールすると、正しく再生できなくなる場合があります。市販のDVDビデオの中には、再生時に独自の再生ソフトをインストールする仕組みになっているものがあります。このようなDVDビデオで、インストール開始画面が表示された場合は、必ずインストールを中止してください。誤ってインストールし、正しく再生できなくなった場合は、以下の方法をお試しください。
  ・ [スタート]-[コントロールパネル]を選び、[プログラムの追加と削除]でインストールした再生ソフトをアンインストールする。（アンインストールする再生ソフトの名称は、市販のDVDビデオの説明書などで確認してください。）
  ・ 再生ソフト独自の設定で、DVDビデオを再生するソフトを指定できる場合は、WinDVDを指定する。

こんなときは…

- ● 最大化したビデオの再生画面は、画面上でダブルクリックすると元のサイズに戻ります。
- ● 音量を調整するときは、WinDVD のコントロールパネルをお使いください。
  - ・ WinDVD の起動中は、WinDVD で調整した音量が優先されるため、タスクトレイのアイコンで音量を調整しても、一時停止や早送り、早戻し、チャプターの移動を行ったときに、WinDVD で調整した音量に戻ることがあります。
  - ・ WinDVD で調整した音量やミュート設定は、WinDVD を終了すると元に戻ります。
- ● WinDVD で DVD ビデオと MPEG ファイルを自動的に再生したいときは、Windows® Media Player を起動し、[ツール]-[オプション]-[ファイルの種類]を選んで、「DVD ビデオ」と「ムービーファイル（mpeg)」のチェックマークを外してください。
- ● 画面の色数を増やしたら、メッセージが表示されて DVD が再生できなくなった場合：
  - ・ 画面の色数を減らしてください。
  - ・ デスクトップ上で右クリックし、[プロパティ]-[設定]-[詳細]-[トラブルシューティング]の[ハードウェアアクセラレータ]の値を最大に設定してください。
- ● 動作環境や DVD ビデオによっては、一時停止を解除した直後、一時的にコマ落ち（映像や音声が途切れる）が発生することがあります。
- ● 滑らかに再生できないとき
  - ・ 動作環境や DVD ビデオによっては、滑らかに再生できない、または早送り（タイムストレッチ）時の音声が聞き取りにくい場合があります。下記の手順で、設定を確認してください。
    ① WinDVDの画面上で右クリックし、[セットアップ]-[ビデオ]を選ぶ。
    ② [ハードウェアデコードアクセラレーション使用]と[ハードウェアカラーアクセラレーション使用]にチェックマークが付いていることを確認する。
  - ・ ディスクによっては画面がちらつくことがあります。その場合は、上記の手順②で[ハードウェアデコードアクセラレーション使用]のチェックマークを外してください。
  - ・ 拡張デスクトップ使用中や、内部 LCD と外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、画像やビデオが正しく表示されないことがあります。
  - ・ WinDVD 以外の DVD ビデオソフトウェアがインストールされた場合、画像やビデオが正しく表示されないことがあります。(☞ 3 ページ)
- ● 再生画面がかすれて白く飛んでいるように見えるときは、[カラープリセット]を[カスタム]に設定してください。
  [カスタム]以外に設定すると、再生画面がかすれて白く飛んでいるように見えます。
  （設定画面は、WinDVD の画面上で右クリックし、[セットアップ]-[ビデオ]を選ぶと表示されます。）
  WinDVD でのカラー設定は、WinDVD のコントロールパネル上の ➡ を選び、[カラー]を選んで、サブパネル上で「明るさ」「コントラスト」「カラー」の設定を行ってください。
- ● WinDVD でキャプチャー機能をお使いになる場合は、あらかじめ[ハードウェアデコードアクセラレーション使用]のチェックマークを外しておいてください。
  （設定画面は、WinDVD の画面上で右クリックし、[セットアップ]-[ビデオ]を選ぶと表示されます。）
- ● WinDVD を削除してしまった場合は、再度インストールしてください。

リージョン設定について

DVDビデオには販売される地域によってリージョンコードが設定されています。
DVD ビデオを再生するには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

・ DVD ディスクのリージョンコード
・ ドライブのリージョンコード
・ 再生ソフトのリージョンコード

例） 日本・ヨーロッパ　：「2」
　　アメリカ・カナダ　：「1」

本機のドライブは工場出荷時にリージョンコードが設定されていません。
そのため、初めて DVD ビデオを再生したときは、以下のようになります。

・特定のリージョンコードが設定されている DVD ビデオの場合
DVD ビデオと同じリージョンコードが自動的に設定されます。

・その他の DVD ビデオの場合
リージョンコードの確認画面が表示されます。
リージョンコードを選び、[OK]を選んでください。再生が始まります。
（一部の DVD ビデオでは、リージョンコードの確認画面が表示されないことがあります。現在のリージョンコードと残りの設定回数は、WinDVD の画面上で右クリックし、[セットアップ]から[リージョン（地域）]を選んで確認してください。）

お願い

● リージョンコードは、最初の設定も含めて全部で5回設定できます。5回目の設定を行うと、そのリージョンコードに固定され、システムを再インストールしてもそれ以上変更できなくなりますので、十分にお気を付けください。
● 不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

お知らせ

● ドライブのリージョンコードと異なるリージョンコードのディスクをセットした場合も、リージョンコードの確認画面が表示されます。

DVD レコーダーなどで作成した DVD の再生について

再生できる DVD メディア：DVD-Video、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW
ただし、以下のような制限があります。

● DVD-R、DVD-RW を再生するには、ファイナライズ（他の DVD プレーヤーなどで再生できるようにする処理）が必要です。ファイナライズの方法は、お使いの DVD レコーダーの取扱説明書をご参照ください。
● 以下のメディアはコンピューターの管理者の権限でのみ再生できます。
　・ VR形式で録画された DVD-RW
● 作成に使用した DVD レコーダーや、メディアのメーカーによっては、再生できないことがあります。
● デジタル放送などを CPRM（Content Protection for Recordable Media）などの著作権管理技術で録画したメディアは再生できません。
● DVD-Audio は WinDVD では再生できません。

オンラインヘルプの見かた

WinDVDを起動した後に、以下のどちらかの方法で見ることができます。

● WinDVDのコントロールパネル上の「?」を選ぶ。

● WinDVDの画面上で右クリックし、[ヘルプ]を選ぶ。

サポート情報

WinDVDが正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずオンラインヘルプをよくお読みください。
それでも解決しない場合は、インタービデオ ジャパン株式会社にお問い合わせください。

● インタービデオ ジャパン株式会社
Webサイト：http://www.intervideo.co.jp

● オンラインサポート：
以下の手順でお問い合わせください。

①デスクトップの Internet Explorer をダブルクリックし、Internet Explorerを起動する。
②http://www.intervideo.comにアクセスする。
③画面右上の▼を選んで、［Japanese］を選ぶ。
④［サポート］-［カスタマーサービス］-［サポートリクエストフォーム］を選ぶ。
⑤画面右上の［Language］を選んで、表示する言語を選ぶ。
⑥フォームに必要事項を記入して送信する。

（2005年2月1日現在）

● ユーザーサポート：
E-mail：techsupp@intervideo.co.jp
TEL：045 - 226 - 3899
FAX：045 - 226 - 3895
お問い合わせ時間帯：月～金曜日、9:30～17:00（12:00～13:30および祝祭日、夏季・年末年始特定休業日を除く）

B’s Recorder / B’s CLiP

「B’s Recorder GOLD7 BASIC」および「B’s CLiP5」(以降「B’s Recorder」および「B’s CLiP」と記載)は、CD ライティングソフトウェアです。
ここでは、「B’s Recorder」および「B’s CLiP」の概要、インストールのしかた、オンラインヘルプの見かたなどについて説明しています。使いかたについて詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。(☞ 8 ページ)
・B’s Recorder および B’s CLiP は、株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。

● 使用できるメディア

- CD-R*1 (1 回だけ書き込み可能な CD メディア)
- CD-RW(書き込みおよび消去可能な CD メディア)

*1 B’s Recorder でのみ使用できます。B’s CLiP で CD-R ディスクの書き込みおよび読み込みはできません。

インストールの前に

[スタート]-[マイコンピュータ]で[(d:)]*2を右ボタンで選んで[プロパティ]-[書き込み]を選び、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックマークを外してください。
(新しくユーザーを追加するごとに、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックマークを外してください。)
*2 「d」はドライブ文字です。コンピューターの使用状況にあわせて変更してください。

インストールのしかた

お願い

- ●「B’s Recorder」および「B’s CLiP」のセットアッププログラムを起動する前に、他のすべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- ● コンピューターの管理者の権限でログオンしてください。
- ● シリアル番号はシールとディスクに書かれています。紛失しないようにしてください。

① DVD Drive Utility Disc を CD ドライブにセットする。
[ユーティリティセットアップツール]画面が表示されます。(ディスクを認識するまでに少し時間がかかります。)
自動的に[ユーティリティセットアップツール]の画面が表示されなかった場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、[d:¥Setuputil.exe]*3と入力して[OK]を選んでください。
② [B’s Recorder Gold と B’s CLiP のインストール]を選ぶと、[B.H.A Setup Launcher]画面が表示されます。
③ [B’s Recorder GOLD BASIC]を選び、画面の指示に従う。
インストール操作の間に、シリアル番号を入力する指示があります。
シールとディスクに書かれたシリアル番号を入力してください。
④ インストールが終了したら、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選び、[完了]を選ぶ。
コンピューターが再起動します。
⑤ [スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、[d:¥Setuputil.exe]*3と入力して[OK]を選ぶ。
[ユーティリティセットアップツール]画面が表示されます。
⑥ [B’s Recorder Gold と B’s CLiP のインストール]を選ぶと、[B.H.A Setup Launcher]画面が表示されます。
⑦ [B’s CLiP5]を選び、画面の指示に従う。
インストール操作の間に、シリアル番号を入力する指示があります。
シールとディスクに書かれたシリアル番号を入力してください。
⑧ インストールが終了したら、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選び、[完了]を選ぶ。
コンピューターが再起動します。

*3 「d」はドライブ文字です。コンピューターの使用状況にあわせて変更してください。

起動のしかた

●B’s Recorder

以下のどちらかの方法で起動することができます。

- デスクトップの B's Recorder GOLD BASIC をダブルクリックする。
- [スタート]-[すべてのプログラム]-[B.H.A]-[B's Recorder GOLD BASIC]-[B's Recorder GOLD BASIC]を選ぶ。

● B’s CLiP

コンピューターの起動と同時に起動し、タスクトレイにまたは(B’s CLiP アイコン）が表示されます。

使用上のお願い

●B’s CLiP でディスクをフォーマットする場合

- タスクトレイのまたはを右クリックし、[フォーマット]を選んでください。
  B’s CLiP以外の方法でフォーマットしたディスクは使用しないでください。
- ディスクをフォーマットした後、マウント（ディスクの認識）しない場合は、入れ直してください。
- フォーマットしたディスクは、「が表示されているときにディスクを取り出す場合」（下記）の操作で取り出してください。

●が表示されているときにディスクを取り出す場合

- を右クリックし、[取り出し]を選んでください。
  (が表示されているときに、CD 取り出しボタンを押した場合、トレイが開くまで数秒かかります。)
- 上記の方法でも取り出せない場合は、Windows を終了し、電源が切れてからエマージェンシーホールにゼムクリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを挿し込み、トレイを引き出してください。
- Windows をログオフする前に、必ず B's Recorder を終了してください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用しないでください。
  切り替え後、またはが表示されず、B’s CLiP が使用できなくなります。その場合は、すべてのユーザーをログオフした後、使用したいユーザーでログオンしてください。
- [このドライブで CD 書き込みを有効にする]にチェックマークを付けないでください。(☞ 7ページ)

オンラインヘルプの見かた

● B’s Recorder

[スタート]-[すべてのプログラム]-[B.H.A]-[B’s Recorder GOLD BASIC]-[DOC]-[ユーザーズマニュアル]を選ぶ。

● B’s CLiP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[B.H.A]-[B’s CLiP]-[ユーザーズマニュアル]を選ぶ。

使用上のお知らせ

- 本機では B's CLiP で CD-R ディスクの書き込みおよび読み込みはできません。
- B's Recorder で書き込みが終了すると、トレイが自動的に開きます。
  B's Recorder の設定を変更して、自動的には開かないようにすることもできます。ただし、書き込み終了後に[OK]を選んだ場合は、設定にかかわらずトレイが開きます。
- 「B's Recorder」、「B's CLiP」を削除してしまった場合は、再度インストールしてください。

●ユーザー登録について

以下の手順でユーザー登録ができます。

① インターネットに接続できる状態で、B's Recorder を起動する。
② [ヘルプ]-[関連サイト情報]-[オンラインユーザー登録]を選ぶ。
画面の指示に従ってください。

●複製について

映像・音楽などの著作物の複製は、個人的または家庭内で使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

サポート情報

「B's Recorder」および「B's CLiP」が正常に動作しない場合、動作環境、オペレーションについての疑問点がございましたら、まずオンラインヘルプをよくお読みください。
それでも解決しない場合は、株式会社ビー・エイチ・エーにお問い合わせください。

サポートページよりオンラインサポートをご利用ください。

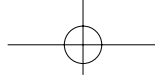
- Web サイト
  サポートページ http://help.bha.co.jp
  ホームページ http://www.bha.co.jp

- 株式会社ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター
  Windows 用製品向け代表番号
  TEL： 06-4861-8234
  FAX： 06-6378-3336
  お問い合わせ時間帯：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
  （夏季・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）

仕様 日本国内専用 『取扱説明書』「仕様」

●本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名		CF-82J5XEXS
CPU		インテル® Celeron® D プロセッサ 330、 オンダイ L2 キャッシュ -256 K バイト[*1]、動作周波数 2.66 GHz、 フロントサイド・バス 533 MHz
搭載メモリー[*2]		512 M バイト[*1]（SO-DIMM、333 MHz 対応）
ビデオメモリー		最大64 Mバイト[*1*3]（メインメモリーと共用）
LCD	タイプ	15型TFTカラー液晶（XGA）
	解像度 （表示色数）	1,024 × 768ドット（最大1,677万色）
外部ディスプレイ		800 × 600ドット/1,024 × 768ドット/1,280 × 1,024 ドット /1,600 × 1,200ドット（65,536色/約1,677万色）
ハードディスクドライブ		約40 Gバイト[*4]
フロッピーディスクドライブ		720 Kバイト[*1]/1.2 Mバイト[*5]/1.44 Mバイト[*5] の 3 モード対応[*6]
DVD-ROM & CD-R/RWドライブ		バッファアンダーランエラー防止機能（SmoothLink）搭載
	連続データ転送速度[*7*8]/再生	●DVD-RAM[*9]：2倍速（4.7 Gバイト[*4]）/1 倍速（2.6 Gバイト[*4]） ●DVD-R[*10]：最大4 倍速 ●DVD-RW：最大4 倍速 ●DVD-ROM[*11]（1層）：最大8 倍速 ●DVD-ROM[*11]（2層）：最大6倍速 ●CD-ROM[*11]：最大 24倍速 ●CD-R[*11]：最大24 倍速 ●CD-RW[*11]：最大24 倍速
	連続データ転送速度 [*7*8]/ 記録	●CD-R書き込み [*12]： 4 倍速、8 倍速、10〜16 倍速、10〜24 倍速 ●CD-RW書き換え：4 倍速 ●High-Speed CD-RW書き換え：4 倍速、8 倍速、10 倍速 ●Ultra-Speed CD-RW書き換え：10 倍速、10〜16 倍速 [*13]、10〜24 倍速
	対応ディスク、および対応フォーマット [*8] / 再生	●DVD-ROM（1層、2層） ●DVD-R[*10]（1.4 Gバイト、3.95 Gバイト、4.7 Gバイト）[*4] ●DVD-RW（Ver.1.1 4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）[*4] ●DVD-RAM[*9]（1.4 Gバイト、2.8 Gバイト、2.6 Gバイト、5.2 Gバイト、4.7 Gバイト、9.4 Gバイト）[*4] ●CD-Audio ●CD-ROM（XA対応）●CD-R ●Photo CD（マルチセッション対応）●VideoCD ●CD-EXTRA ●CD-RW ●CD-TEXT
	対応ディスク、および対応フォーマット [*8] / 記録	●CD-R ●CD-RW
スロット	PC カードスロット	Type II(Type I) × 2スロット内蔵 （Type III × 1 スロットとして使用可能） 許容電流(2 スロット合計)3.3 Vまたは5 V：400 mA、12 V：120 mA
	RAMスロット	2スロット（200ピン、2.5 V対応、SO-DIMM、DDR-SDRAM）（1スロット装着済み）
インターフェース	外部ディスプレイコネクター	ミニD-sub15ピン（シングルディスプレイのみ）
	パラレルコネクター	ECP対応D-sub 25ピン
	シリアルコネクター	RS-232C D-sub 9ピン
	オーディオ出力端子	ステレオミニジャック（ヘッドホン出力）
	マイク入力端子 [*14]	ミニジャック
	キーボード端子	PS/2 タイプ ミニDIN 6ピン
	マウス端子	PS/2 タイプ ミニDIN 6ピン
	LAN コネクター [*15]	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T
	USB コネクター	Universal Serial Bus 2.0準拠 4 ピン × 4[*16]
スピーカー		モノラルスピーカー（内蔵）
サウンド機能		PCM 音源（16 ビットステレオ）
電源	入力	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 / エネルギー消費効率 [*17]		最大 120 W[*18]/ 0.00021、（社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：120 W
外形寸法		349 mm × 333 mm × 200 mm（幅×高さ×奥行き）
質量		約 7.3 kg
使用環境条件		温度：5 ℃〜35 ℃ 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）

*1　1 Kバイト=1,024バイト。 1 Mバイト=1,048,576バイト。
*2　最大メモリーサイズは、768Mバイト（推奨RAMモジュール256Mバイトを使用した場合）です。『操作マニュアル』の「RAMモジュール」に記載されている最大メモリーサイズ（1 Gバイト）は誤りです。お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。
*3　コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*4　1 Gバイト=1,000,000,000バイト。　OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGバイト表示される場合があります。
*5　1 Mバイト=1,024,000バイト。　OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でMバイト表示される場合があります。
*6　1.2 Mバイトへの対応には、ドライバーのインストールが必要です。Windows XPの場合、OSの制限により、1.44 Mバイト以外のフォーマットはできません。
*7　データ転送速度は当社測定値。DVDの1倍速の転送速度は1,350KB/s。CDの1倍速の転送速度は150KB/s。
*8　CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWは、書き込み状態や記録形式によっては、性能が保証できない場合があります。また、ご使用のディスク・設定・環境によっては、再生できない場合があります。
*9　DVD-RAMは、カートリッジなしのディスクまたはカートリッジから取り出せるディスクのみ使用できます。
*10　DVD-Rは、4.7 Gバイト（for General）の再生に対応。DVD-R（for Authoring）の再生については、ディスクアットワンス記録したものに対応しています。
*11　偏重心のディスク（重心が中央にないディスク）を使用すると、振動が大きくなり速度が遅くなることがあります。
*12　使用するディスクによって、書き込み速度が遅くなることがあります。
*13　4倍速、8倍速には対応していません。
*14　コンデンサー型モノラルマイクロホンのみ使用できます。
*15　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。
*16　USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。USB Bootには対応していません。
*17　エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
*18　電源オフで、電源コードを接続している状態では、約1.2 Wの電力を消費します。　（LAN Wake Up機能（☞『操作マニュアル』「LAN機能」）を有効に設定している場合で、スタンバイ・休止状態にしたときは約2 W）
※　SmoothLinkは、松下電器産業株式会社の商標です。
※　シングルディスプレイモデルにディスプレイを増設して、ダブルディスプレイモデルに変更することはできません。

●付属品仕様

キーボード	JIS準拠/109A キーボード
ポインティングデバイス	PS/2マウス（ホイール機能付き）

●導入済みソフトウェア*1

OS	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（NTFSファイルシステム）、Microsoft® Windows® Media Player 9.0、DirectX 9.0c
ユーティリティプログラム	DMIビューアー、USERボタンモニター、Adobe Reader、PC情報ビューアー、セットアップユーティリティ、ハードディスクデータ消去ユーティリティ*2、ハードディスクバックアップユーティリティ*2、WinDVD™*3、B's Recorder GOLD7 BASIC*3、B's CLiP5*3

*1　本機はインストール済みOS以外では動作保証しておりません。
*2　プロダクトリカバリーCD-ROMが必要です。
*3　DVD Drive Utility Discからのインストールが必要です。